

氏 名 かわ な べ かず え
川 那 部 和 恵



所 属 ・ 職 名 教育実践開発講座・教授
(異文化理解教育系)

研究室電話番号 0742-27-9271
(ダイヤルイン・FAX 兼用)

電子メールアドレス kawanabe@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位 名古屋大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学(1994)
文学博士(名古屋大学)

所 属 学 会 等 日本フランス語・フランス文学会, 日本キリスト教文学会, 国際中世演劇学会他

専 門 分 野 フランス中世・ルネサンス演劇, フランス文学, 比較文学・文化

研究と教育について

主に, フランス 15・16 世紀に聖史劇とともに未曾有の隆盛をみせた世俗劇の全体(ファルス, ソティ, モラリテ, 陽気な説教, 独白劇)を対象とし, この社会現象としての祝祭的演劇文化の生成と活動の実態を歴史的に検証すると同時に, その表象的側面を文化・社会・宗教・思想等の諸方面から読み解く作業を行なっている。また近年は, 聖史劇と世俗劇における聖と俗の関係性のありようを, わが国の室町期に大成した能・狂言との対比のなかで探る, 相互照射による比較研究もすすめている。

フランス語および仏日欧米の文化全般(古今に限らず)に関する授業を担当する者として, 学生の皆さんには異文化理解の視点と国際的な感性を身につけてもらいたいと思っています。それは与えられるものではなく自ら探究する者だけが獲得しうるもの。授業では, 知識の伝授にはとどまらず, 受講生の一人ひとりがそうした地平への到達をめざして意欲的に取り組む気になるよう様々の面から刺激していきます。体験派には, 姉妹校のフランス・リヨン第三大学への交換留学がお勧めです。なお, 最近指導した卒業研究のテーマには, キリスト教文化, 言語・美術・食・服飾などの文化受容や東西比較, 現代フランスにおける社会問題などがあります。

主 な 研 究 業 績

- ・アルヌール・グレバンと世阿弥における「花」の聖と俗の関係性:『受難の聖史劇』と世阿弥の能芸論伝書の対比を通して,『奈良教育大学紀要』第 53 巻, 2004 年
- ・ソティ『全世界さんのモラル』と阿呆の認識論,『ロンサール研究』第 16 号, 2003 年
- ・陽気な終末論 - フランス 15・16 世紀世俗劇における終末意識,『キリスト教文学研究』第 18 号, 2001 年
- ・Kyogen : la farce japonaise ancienne en comparaison de l'ancienne farce française, in De la Representation du Mystere de Valenciennes de 1547 a la Poste-modernite, Presses Universitaires de Valenciennes, 1998 年
- ・フランス 15・16 世紀の「阿呆の王国」----- 世俗劇生成現場の文化と精神,『筑波大学外国語教育論集』第 19 号, 1997 年

主な授業担当科目

フランス語/フランス語会話(外国語科目), 対照言語文化論(総合教育課程), フランス言語文化論(総合教育課程), フランス地域文化論(総合教育課程), 異文化理解教育内容学・異文化対照論(研究科)

学 会 活 動

社 会 的 活 動 平成 17 年度奈良県教科用図書選定審議会委員

講 演 の テ ー マ 「笑いの文化論: フランス・ルネサンスの道化文化」(平成 16 年度奈良教育大学公開講座)